

令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月8日(土) 男子 2回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第6試合

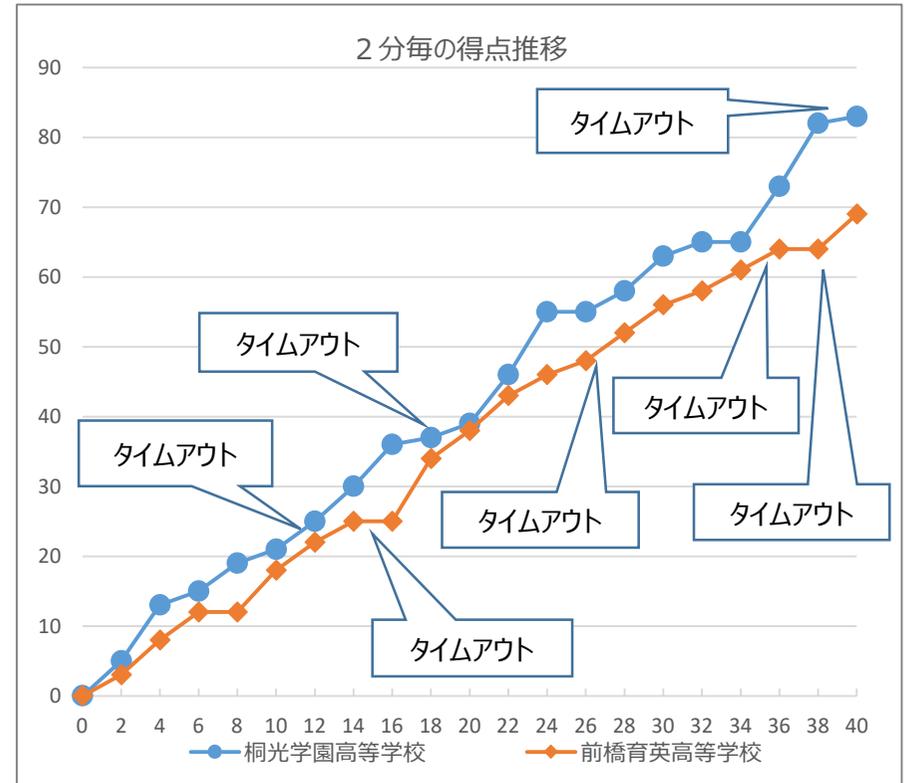
チームA		21	1st	18	69	チームB
桐光学園高等学校 (神奈川県)	83	18	2nd	20		前橋育英高等学校 (群馬県)
		24	3rd	18		
		20	4th	13		
			OT			

Aチーム： 桐光学園高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	小田 光太	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
2		5	伊藤 治輝	12	0	0	6	7	0	0	0	5	4	9
3		6	磯崎 大護	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0
4	*	7	進 翔太	9	0	0	3	7	3	4	3	0	21	21
5		8	大竹 峻叶	4	0	0	1	2	2	2	1	0	0	0
6		9	近藤 航太郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		10	馬渡 心太郎											
8		11	木下 璃樹											
9	*	12	ウォーレン 航喜	7	0	0	3	5	1	2	0	0	0	0
10	*	13	谷口 律	8	0	0	4	7	0	2	3	5	0	5
11	*	14	前田 健冴	12	1	5	2	5	5	6	3	1	0	1
12		15	岩井 慧太郎											
13		16	オドゲレル トルガ	14	3	4	2	7	1	2	0	2	0	2
14	*	17	角田 十希	17	3	5	1	1	6	7	1	2	0	2
15		18	邊見 勇士											
HC/TEAM				高橋 正幸										0
合計				83	7	18	22	42	18	25	13	15	25	40

Bチーム： 前橋育英高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
1	*	4	石川 昂	21	3	14	5	9	2	4	3	3	3	6	
2	*	5	茂木 健太郎	11	0	1	4	9	3	4	3	3	9	12	
3		6	松井 系立	4	0	0	2	6	0	0	1	5	3	8	
4	*	7	齋藤 優大	2	0	1	1	3	0	2	1	3	1	4	
5	*	8	野村 康太	4	0	4	1	5	2	5	2	2	0	2	
6	*	9	鈴木 力輝也	11	3	8	1	2	0	0	3	3	2	5	
7		10	北村 一馬	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
8		11	久岡 賢太郎	9	1	5	2	7	2	2	3	0	2	2	
9		12	森田 翔伍	1	0	2	0	0	1	2	2	0	2	2	
10		13	飯塚 和生	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	
11		14	佐藤 永遠	2	0	3	1	4	0	0	3	1	4	5	
12		15	中村 文太												
13		16	小林 晴樹												
14		17	小野寺 哲哉												
15		18	南 征宏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
HC/TEAM				加賀谷 寿											
合計				69	7	40	19	47	10	19	21	21	26	47	



戦評

記者者：古田 厚司 (山梨県高体連)

1Q、両チームマンツーマンでスタート。桐光は、立ち上がりから#13、#16などの外の選手がドリブルからストップジャンプシュートを確率良く決める。育英は#9の3Pやブレイクなどで得点。桐光リードを育英が追いかける展開となる。互いに譲ることなく21-18、桐光リードで終了。2Q、桐光#5、#13が連続得点すると育英は#11、#7が連続得点で返し、25-22と育英が追い上げたところで桐光がタイムアウト。タイムアウト後、桐光は#12、#5がポストプレーやリバウンドシュートでジワジワと点差を広げる。5分過ぎ34-25と桐光が9点リードしたところで育英がタイムアウト。タイムアウト後、育英は、桐光#5、#17に得点を許し12点差まで広がるが育英は粘りをみせ、3Pを含む6連続得点。残り1分22秒には38-37と逆転する。最後は39-38桐光1点リードで前半終了。3Q、立ち上がりから激しく得点を取り合う。桐光#17が3連続3Pを決めて主導権を握ったかに見えたが、育英は#4、#5が得点して粘る。残り3分を切り育英#4、#5が得点を重ねて60-56と4点差まで詰めるがラスト15秒で桐光#16が3Pを決め、63-56、桐光リードで終了。4Q育英は#14がドライブで崩して#13が合わせて得点すると、桐光#16がミドルシュートで応戦。一進一退の攻防が続く。残り4分をきったところから桐光はフリースロー、#16の3P、ブレイクなどで得点を重ね差を広げる。育英は最後まで粘るも及ばず。83-69で桐光学園が勝利した。

主審	第1副審	第2副審
遠藤 大輔 (東京都)	安藤 俊明 (千葉県)	大井 陽平 (埼玉県)